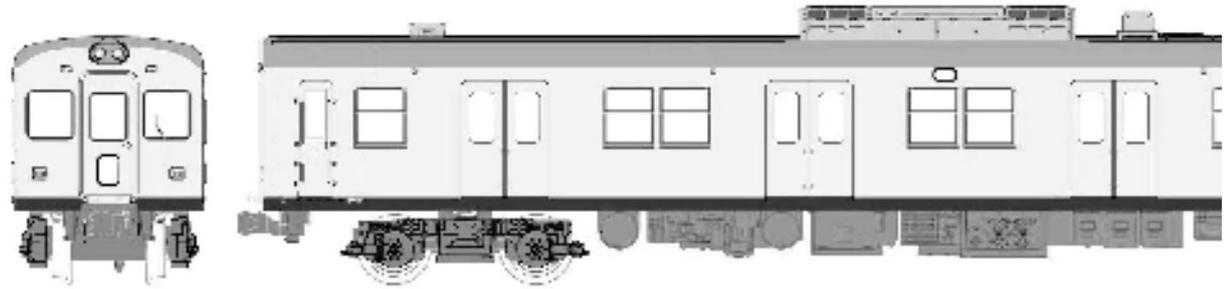
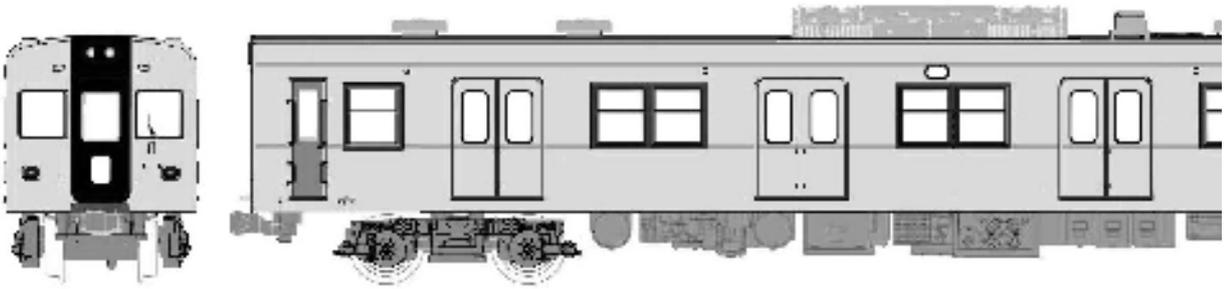


|       |   |  |
|-------|---|--|
| A3272 | 相模鉄道 旧6000系<br>新塗装・冷房改造車 8両セット          | 定価:21,500円(税別)<br>JANコード:120965 カートン内入数:12 |
| A3276 | 相模鉄道 旧6000系 アルミ試作車組込<br>冷房改造車・新塗装 8両セット | 予価:21,500円(税別)<br>JANコード:121009 カートン内入数:12 |

A3272



A3276



|       |  |   |
|-------|--|---|
| 商品形態  | Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入)  |   |
| 実車    | 6000系は1961(昭和36)年から120両が製造されました。直角カルダン駆動や相模鉄道で初めて両開き扉が採用されました。車体形状は普通鋼製20m級4扉の箱型で、中間車では前後非対称となる車内レイアウトが特徴です。編成組成の自由度が高い1M方式を採用し、最短で2両編成から1両単位で増結が可能な機器構成として設計されています。モハ6021はアルミ車体の試作車両として登場し、のちの2100系、5100系、7000系の設計に大きな影響を与えました。1986(昭和61)年までに全車冷房改造され、相鉄電車の中核として活躍しましたが、後継となる8000系・9000系の登場に伴い、1997(平成9)年までに全車引退しました。現在はかしわ台車両センターにモハ6001、モハ6021の2両が保存されています。 |   |
| 商品概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実。</li> <li>・窓、ドア配置に特徴がある、旧6000系電車を製品化。</li> <li>・冷房改造車。ディスクブレーキが台車枠の外に取り付けられた後期型がプロトタイプ。</li> <li>・シールドビーム2灯化ヘッドライト、テールライト、行先表示器がLEDにて点灯。ON-OFFスイッチ付。</li> <li>・フライホイール付き動力ユニット採用。</li> </ul>   |   |
| A3272 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全車がライトグリーンの新塗装車8両セット。</li> <li>・車両毎に、妻面貫通扉の有無を造り分け。</li> <li>・編成 ←横浜</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>海老名→</li> </ul> <p style="text-align: right;">相模鉄道株式会社商品化申請中</p> |
| A3276 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ試作車モハ6021を組み込んだ8両セット。</li> <li>・モハ6021用のヒートポンプ式クーラーを専用金型で作成。</li> <li>・台車が他車とは異なるサハ6625を連結。</li> <li>・編成 ←横浜</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>海老名→</li> </ul> <p style="text-align: right;">相模鉄道株式会社商品化申請中</p> |
| オプション | 幅狭室内灯・G0005/G0006/G0007/G0008, マイクロカプラー自連・灰:F0004  |   |
| 付属品   | ステッカー1枚  |   |